

# 令和8年度 事業計画

社会福祉法人 南寿会  
老人介護施設 サンシニア河津

## 目次

法人理念	3
運営理念	3
経営理念	3
法人事業計画	3
事業実施計画	4
施設目標	5
部署別目標	
特別養護老人ホーム	6
相談室（特養・ショート）	6
給食課	6
居宅介護支援事業	7
通所介護サービス（一般）	7
通所介護サービス（地域密着）	7
訪問介護サービス	7

## 【法人理念】

“安らぎと人生の輝きを！！”

混乱期を乗り越えて来られた方々の尊厳を大切にし、生きる感動、生きるよろこびが、利用者の一人一人に蘇る介護を目指します。

## 【運営理念】

～私たちが大切にしていること～

- ・ 日常生活の尊重（家庭生活の延長上にある快適な暮らし）
- ・ 自己決定の尊重（その人らしく生きる）
- ・ 生活の質の確保（専門のスタッフによる介護）
- ・ プライベートへの配慮（個室対応）
- ・ 行動を許容する（拘束の厳禁）
- ・ 人間の存在価値を知る（利用者から生き方を学ばせて貰う）

上記を傾聴、受容、共感、保障をもって、利用者の介護に当たります。

## 【経営理念】

～私たちが目標にしていること～

施設の処遇の情報公開を始め、利用者、家族の方々との交流を密にし、要望、批判を謙虚に受け止め改善に努めます。

ボランティアの方々に進んで協力していただける施設、地域の社会福祉教育をお手伝いできる施設、地域の皆様に親しまれる開かれた施設づくりに努めます。

## 【法人事業計画】

### （基本目標）

#### 運営基盤の強化

社会福祉・地域貢献を続けるため、安定した収益と人材の確保を柱とする運営基盤の継続的な強化に取り組む。

- ① 事業体系の適正化  
賀茂圏域の老人介護需要に則した柔軟な事業体系構築
- ② 働きやすい環境の整備  
家庭の事情に合わせた働き方の提案、相談しやすい環境作りとハラスメント・規律違反に対する厳正な対処

#### 引き続き行う重点事項

- ① 利用者の基本的人権を尊重した介護の実現と、個別介護の確立
- ② 職員、利用者家族、地域の連携による、より良い介護環境の実現
- ③ 利用者の健康保持と疾病予防、緊急体制など、医療体制の確保
- ④ 利用者の個別性を重視した、活力ある生活の支援
- ⑤ 法令遵守の徹底
- ⑥ 感染症対策

## 【事業実施計画】

### （利用者処遇及び業務）

- ① 利用者の状態・ニーズに応じたケアプラン作成及びサービス提供
- ② 職員間での「利用者情報の共有」、カンファレンスによる他職種連携、利用者処遇の更なる向上
- ③ 利用者・家族からの苦情への、迅速且つ適切な回答

### （職員処遇）

- ① 介護職以外の職種に対する処遇の改善
- ② 資格取得についての指導・模擬試験等による支援
- ③ 研修・教育の充実によるサービスの質向上
- ④ 職員の悩み・相談への迅速な対応と、業務に集中できる職場環境づくり
- ⑤ 健康診断・ストレスチェック・予防接種等、職員の健康管理
- ⑥ 有給休暇取得促進等、職員の権利擁護

# 令和 8 年度施設目標

## 【仕事(施設)の質を高める】

昨年 12 月初旬、外部評価機関による『施設（特養）の質』に対する審査を受けました。その際に審査に来られた方々は、『多くの特養入居者がサービスの質に満足していると感じた』と話されていました。この結果は日頃の皆さんの頑張りの結果なので、自信を持って良いと思います。

そして、この先も地域に選ばれる施設であるためには、質の維持ではなく向上が必要です。そこで次年度の施設目標は、質の向上と定め、各部署で取り組んでもらいたいと思います。

部署毎に取り組むべきポイントは異なります。部署長は自部署の強み・弱みを理解しているはずですから、それを踏まえて目標を立ててください。この際に重要なことは、具体性と期限です。『いつまで』に『何』を『どこまで』やるのかが不明瞭では、具体的な行動に繋がらないので注意してください。職員は、部署長の立てた部門目標の達成を目指して、業務に取り組んでください。

### 【質を向上するための取り組み例】

- 1) 介護の標準化と個別最適化の両立
- 2) 職員のスキルアップによるレベル差の縮小
- 3) 業務効率化による余裕の創出
- 4) チームワークの強化
- 5) 利用者・家族の声から改善点を見出す

更なる質の向上に向けて、前向きな取り組みをお願いします。

令和 8 年

施設長 真下和人

## 【各部署に対する指示】

### (施設系)

- **特別養護老人ホーム**  
介護職員個々の能力の底上げと、人員のローテーションによる職場の活性化
- **相談室（特養・ショート）**  
退所から新規入所までの期間短縮による空床削減（収益性の向上）
- **看護**  
業務の効率化による時間創出と、作り出した時間を使っての看護知識の向上
- **給食課**  
高騰する材料費への対応と、利用者が喜ぶ献立とのバランス維持

### (居宅系)

- **居宅支援事業**  
シャドワーク削減による時間創出による、支援業務の高密度化  
AI 活用を視野に入れた情報収集
- **デイサービス（2拠点）**  
利用者へのアンケート等実施による、要望の掘り起こしと対応
- **訪問介護**  
限られたリソースの効率的な振り分けによる、本当に支援が必要な利用者へのサービス提供